

## 成人市中肺炎の重症度別患者数

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
重症度0	11人	6.9日	36.1歳
重症度1	36人	19.1日	78.9歳
重症度2	26人	15.3日	83.4歳
重症度3	12人	27.5日	84.9歳
重症度4	2人	9.0日	92.0歳
重症度5	0人	-	-
不明	67人	4.8日	5.1歳

### 《解説》

高齢者の肺炎が増加しており、特に慢性呼吸器疾患をお持ちの患者さんは繰り返し肺炎に罹患される方もいらっしゃいます。高齢で合併症を有する肺炎は重症化の危険性も高く、適切な抗生剤の使用や酸素投与などの支持療法が大切となります。また長期入院に伴う廃用性の筋力・体力低下を防ぐため、なるべく早期の理学療法（リハビリテーション）導入を心がけております。

### 《定義》

入院の契機となった傷病名および最も医療資源を投入した傷病名がDPCコード040080（肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎）にあたるものを集計。